

事業所職員向 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題・改善点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	34	1	0		・人数が大勢な時は活動内容や子どもをグループに分けるなど工夫している ・今年度は子どもの人数が多く、少し部屋が狭く、角が多い為角で怪我をしない様クッションシールを貼って対応したクラスと、子どもの人数に対しスペースが広いクラスとがあったため、人数に応じたクラス利用ができる様考慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	27	8	0	・子どもの特性に合わせた職員配置を心掛けている ・職員の出勤人数が少ない日は事前に、勤務調整を行なっています ・園外行事等活動内容によっては、職員を多く配置する様心がけています	・日によって職員の配置数に差があり、個々のニーズに沿った支援ができない時もあり、十分な職員が配置されているといえない日や逆に配置人数が多く、手厚すぎる日もあり、子どもの力を最大限に引き出せない事もある為職員の人数が少ないと分かっている日は前日ではなく、前もって職員の出勤日調整を行い、逆に職員が多い日の活動内容については十分に子どもの力が発揮できる様に心掛け、活動に取り組む様改善していきます ・研修の予定があっても、当日の職員が少ない場合は、現場を優先し、研修の参加の有無についてその都度検討する必要があります
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	29	6	0	・各クラスで子どもの特性に合った室内のレイアウトに取り組んでいる	・ガイドラインに示されているような、昼食やおやつを摂れる空間、静かな遊びのできる空間、年齢に応じて更衣のできる空間の確保等について、毎週のクラス会議において検討する ・多目的室や遊戯室の大きな部屋の音の反響を少しでも軽減する必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	35	0	0	・日々の掃除や消毒を心掛けています ・子どもたちの手の届く所(窓、ドアノブ、部屋のコーナー)を気を付けて掃除している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	34	1	0	・定期的に職員会議を実施し、行事等の取り組みについて話し合い、実施後には反省及び振り返りを行い次に繋げ、会議に参加出来なかった職員については、議事録を閲覧し周知している	・今年度はクラスによってはあまり共有できていないクラスもあり、クラス会議で早い段階で共有すべきであった
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	34	0	1	・丁寧な面談、やりとりを実施している為業務改善にいかされている	・パート職員との情報共有に努めていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	32	0	3		・昨年度より、実施している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	31	2	2		・第三者による外部評価は実施していません ・パート職員との情報共有につとめていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	35	0	0	・月に1回以上は研修が受けられるので資質の向上につながっている ・様々な研修機会がありシェアもできている	・研修を受けられていない職員もいる。 ・資格や経験のあるパート職員が多く勤務しているが、平均的に資質を上げられる様研修の機会を確保し、情報の周知に努め職員の資質の向上に取り組んでいきます
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	35	0	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	31	2	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	1	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	35	0	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	34	1	0	・毎月クラスで話し合いを行っている	・活動プログラムを決める際職員間での相談ができていない事もある
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	34	1	0	・子どもの特性に合わせ固定化している活動もある	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	35	0	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	32	3	0	・今年度は毎朝活動のねらいや予測される行動を話し合いより良い支援の提供に努めている	・時折出来ない日がある為時間を工夫し、情報共有に努めていく ・朝の通園バス添乗担当になった際は添乗後すぐに活動に入る事になる為前日に確認をするようにしていきます
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	27	8	0		・振り返りの時間が足りない ・夕方の通園バス添乗や延長保育担当の職員がいる為毎回はできない ・クラスごとに違いはあるが、正職員とパート職員間で必ず毎日打ち合わせはできない事がある為改善が必要である
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	33	2	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	31	3	1		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	34	0	1		・パート職員にも情報の共有を行っていく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	32	3	1	・相談支援専門員と連携し支援を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	34	0	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	33	1	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	35	0	0	・個別に対応している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	34	1	0	・適時個別に連絡を取り対応している	
	27	他の児童発達支援センターや発達障害者支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	35	0	0	・5月に他法人の児童発達支援センター園長に来園頂き、職員研修を実施した ・10月、12月に職員が他法人の児童発達支援センターにて研修をさせてもらい、他随時研修に参加している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	31	4	0	・近くの認定こども園の園庭開放に行っています	・個別で幼稚園等に通い交流を実施している ・園庭開放への参加の機会を増やしていきたいと考えています
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	23	7	5		・会議内容により、相談支援専門員又は児童発達支援管理責任者が会議に参加しているが、他職員に対して会議の内容報告まで出来ていない為会議の情報共有を今後行っていきます ・会議に参加したことのない職員の参加についても今後検討していきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	34	1	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	22	11	2	・ペアレント・トレーニング等は実施していないが、保護者交流会等で勉強会を臨床心理士の先生を講師に実施している	・家族支援への課題が大きく、助言できることを職員間で話し合う必要がある

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	33	2	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	34	0	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	35	0	0		
	35	父母の会の活動を支援支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	34	1	0	・年3回の保護者交流会や父親のみ参加の交流会を通して少しでも保護者同士が連携を築けてもらえればと思っています ・各クラスやクラスを越えての保護者同士のランチ会等にも登園を利用して頂き、より保護者間の交流を深めて頂ければと思っています	・現場の職員がより保護者交流会に参加できる様保護者交流会の実施時間帯等の検討が必要である
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	34	1	0		・相談や申し入れがあった際には迅速に対応出来るように今後も心掛けていきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	35	0	0	・毎月園だよりにて行事予定等は発信しています	
	38	個人情報に十分注意しているか	35	0	0	・何度も注意する様、定期的に伝えていきます	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	35	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	35	0	0	・夏まつりに地域の方々にはボランティア等で参加して頂いています又、毎年地域の中学校で開催されている防災フェスタには法人全体で参加し、交流を持っています	・地域の福祉ニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	35	0	0	・消火避難訓練は毎月1回、地震避難訓練は年2回、水害被害訓練を年1回、不審者侵入訓練を年1回実施しています ・感染症対応については職員研修で7月に嘔吐物処理の実地研修を実施し、救命講習にはAEDの使用方法についての研修を行う計画をたてています ・保護者の方へは利用契約時にご説明させて頂いておりますが、十分な周知、説明が出来るよう努めていきます尚ご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	35	0	0		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	35	0	0		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	34	1	0	・保護者に医師の指示書を貰って頂き、保護者に確認している	・担当しているクラス以外の対象児についての情報共有を徹底していきます
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	33	2	0	・事例集は作成していないが、その都度ヒヤリハットの情報共有を行い、注意喚起している	・ヒヤリハット報告書の情報共有を徹底していきます
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	34	0	1	・奈良県主催の虐待防止権利擁護研修に参加しました ・職員会議で虐待防止研修を実施している ・虐待を防止するために会議を実施し、チームで話し合いやすい環境作りを心掛けている	・毎月「業務等のセルフチェックリスト」にてセルフチェックを実施しているが各職員がチェックした事を詳しく検証するまでは至っていない為日々のセルフチェック内容を検証し、支援に繋げていきたいと思います
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	35	0	0		・契約時に十分な説明は行っているが支援計画書への記載は行っていない

《その他》

・様々な専門職が集まっている事は、くれよんの強みであるため、専門職毎にチームを作り、アンケートの項目に対応すべく課題点を話し合い、より良事業所にしていきたい。

《総括》

今後も引き続き職員全体に「児童発達支援ガイドライン」の内容を周知徹底し、より良い支援に取り組んでまいります。  
特に新たに入職した職員に対してはその都度、「児童発達支援ガイドライン」の内容についての説明を実施し、継続的に児童発達支援の質の向上を図り、充実した支援を提供してまいります。  
子どもが充実した毎日を過ごし、望ましい未来を作り出す力の基礎を培っていけるように、職員研修の機会を確保し、職員の資質の向上に努めてまいります。  
今後とも児童発達支援センターくれよんにご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。